



**2025**

## Recruit Information For Doctors



**heartfelt  
healthcare**

患者さまの人生を  
支える医療を  
目指します。

**TEAM HINODE CLINIC**



# 患者さまの人生を 支える医療を目指します。

患者さまの  
家で快適に過ごしたいという  
思いを叶えるため  
医療を通じて  
患者さまの人生（生活）に寄り添い、  
その生活の一部になれる  
診療を目指します





## 患者さまの希望に沿った医療を提供

医師や看護師がチームになって患者さまの生活をサポートします。緊急時は24時間365日対応。住み慣れた自宅でリラックスしながら、生活中心の医療を受けることができるのが患者様にとっての大きなメリットです。

入院していた方が在宅医療に切り替えると、表情が穏やかになり、笑顔が増えることもあります。



## 0歳～100歳まで在宅医療に対応

当院の一番の特徴としては、小児から高齢者まで、0歳から100歳まですべての年代の方を対象とした在宅医療を提供している点です。

たとえば脳梗塞や脳出血が原因で通院できない人や、がん末期のため「抗がん剤や手術など積極的な治療はせずに痛みなどの症状をできる限り和らげながら自宅で療養したい」という人、年齢を重ねることで足腰が弱ってしまった人、神経難病のALSや筋ジストロフィーに罹患している人、寝たきりの人などが対象となります。

### 大人の患者さま

- ✓ 寝たきり状態の方
- ✓ 要介護度が高い方
- ✓ ひとりで通院できない方(付き添いが必要)
- ✓ 体調面から通院するのが大変な方
- ✓ がんなどの病気があり医療が必要で、できる限り自宅で生活したい方
- ✓ 自宅看取りを希望している方
- ✓ 難病などによる入院の頻度を減らすため日々の体調を管理したい方など

### 子どもの患者様

- ✓ NICUや急性期病院から自宅に退院し、継続的な医療ケアを必要としている方
- ✓ 生まれながらの病気をおもちの方
- ✓ 新生児仮死
- ✓ 低出生体重児
- ✓ 18トリソミーや13トリソミーなどの染色体異常
- ✓ 遺伝子に変化を伴う症候群
- ✓ 筋ジストロフィー
- ✓ 先天性ミオパチー
- ✓ 病気や交通外傷や事故による脊髄損傷などにより医療的ケアが必要になった方など



# ひのでクリニックの在宅医療の特徴

## 子どもから高齢者まで、必要とされる方の在宅医療に対応



当院は0才から100才まで、あらゆる年齢で在宅医療を必要とする患者さまに対応しています。  
通院困難な患者さまやご家族にかかる負担を少しでも軽減できるよう、尽力しております。

## 在宅医療では24時間・365日対応。多くの病院と連携



定期的に訪問し診察することで、体調の管理や薬の調整をします。

体調を崩されて緊急の対応が必要なときは、24時間・365日対応しています。

当院では広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院など多くの病院と連携しています。

地域の病院や訪問看護ステーションとも、綿密な連絡をとり、最適な治療を行っています。

## 身近で、なんでも相談できるプライマリ・ケアを提供



患者さまを多角的に、家族や生活背景まで大切にして診療を提供しています。

ひのでクリニックではプライマリ・ケアの観点を非常に重要と考えています。

内科的な疾患だけでなく、予防医療を含めた総合的な診療を提供します。

## 多職種連携を大切にしています



院内には看護師、管理栄養士をはじめ多職種が勤務しています。

また他の事業所との連携もスムーズに行い、多職種で患者さまとご家族の在宅生活をサポートします。



## 在宅医療

薬の調整を行い、必要に応じて点滴や注射、胃ろうチューブ交換、気管切開チューブ交換、尿バルーンの交換、床ずれの処置、酸素や人工呼吸器の調節などを行います。他、通常の定期検査や血液検査・尿検査・エコー検査・心電図検査を行います。

### 生活中心の医療

住み慣れた自宅でリラックスしながら、生活中心の医療を行うことができます。

入院していた方が在宅医療に切り替えると、表情が穏やかになり、笑顔が増えることもあります。

薬の管理や些細な変化にも気づきやすく、早めの対処が可能になります。

### 体調管理

体温や血圧、脈拍、酸素の測定や血液検査、調子を崩したときの対応、薬の調整を行っています。

体調が急に悪化したときなどは、内服薬などで対応できるのか、それとも病院に受診したほうがよいのか、状態に合わせて治療方針を決定します。

### 予防接種・ワクチン

診察で訪問したときに、必要な予防接種やワクチンをスケジュールに沿って打ちます。

### スムーズな連携

病院主治医や訪問看護やケアマネジャーなどと情報交換を行うことで、在宅での生活をサポートします。





# 院長インタビュー

## 「その人らしい人生」に寄り添うチーム医療

### ー この地域の在宅医療の特徴があれば教えてください

「広島は在宅医療クリニックが少ない」と言われることもありますが、個人的には決して少なくないという印象です。しかしながら、もともとは外来診療が中心であったクリニックが並行して在宅医療を行っているようなケースが多く、24時間対応や救急対応に課題があると感じています。そのため、訪問診療を柱とする当院には、病院からの紹介だけでなく「今のクリニックは24時間対応ができない」という患者さん本人からの問い合わせも寄せられます。

このエリアのもう一つの特徴は、緩和ケア病棟を希望される方が多いということです。



広島は緩和ケア病棟が充実しているため、「自宅で生活をするけれど、最後は緩和ケア病棟に」という筋道をつけた紹介も珍しくありません。

在宅での生活はどうしてもご家族の負担が大きくなりますので、高齢化や共働き、遠距離介護といった現代の家庭事情の影響もあるかもしれませんね。

もちろん、だから良い悪いではなく、大切なのは患者さんに複数の選択肢を提示できることです。

私たちはご自宅での療養を望まれる患者さんに対して、医療と生活の両面から包括的にサポートし、充実した時間をできる限り長く過ごせるよう全力を尽くしています。

### ー ひのでクリニックの価値観や強みについて伺います

当院を開業した際、私はクリニック名に自分の名前をつけませんでした。それは、在宅医療は医師一人の力で行うのではなく、多職種とのチームワークで作上げるものだという信念があったからです。

自分を前面に出さない名前を考える中で、この地の地名である「日出」にポジティブなイメージを重ねたこともありクリニック名としました。

複数名の医師による継続的な医療提供体制、そして看護師や言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士といった多職種が連携し、患者さんの生活をトータルでサポートする体制を整えています。

この多職種連携は、わざわざ会議の場を設けたりするのではなく、日々の診療の中で自然と実践されています。例えば、医師が患者さんと話をしている間に管理栄養士がご家族から食事の状況を聞き取って栄養指導を行うなど、必ず複数の専門職が一緒に訪問することで、お互いに多角的な視点から情報を得て質の高いチーム医療につなげています。診療記録はチャットツールや電子カルテで共有され、スムーズな連携と情報の一元化を実現しています。



患者さん宅へ必ず複数名で訪問することは、スタッフが安心して在宅医療に関われる環境づくりの一環でもあります。セクハラやパワハラといった万が一のリスクを排除するとともに、「言った」「言わない」などの認識のずれによるトラブルを回避しています。

## ― 先生が思う、在宅医療のやりがいは何でしょうか

在宅医療の最大のやりがいは、患者さんの生活全体、そしてその人自身を深く知ることができる点です。病院に勤務していた頃は、患者さんの自宅での様子を知る機会はほとんどありませんでした。しかし在宅診療では、外来で拝見する患者さんのイメージと自宅での様子や趣味、嗜好などがまったく異なっていたり、支えている奥様も高齢だったりといった、外来では見えなかった生活上の課題がよく分かります。こうした経験から、私は患者さんの生活そのものに関心を持つようになり、在宅医療の道に進むことを決意しました。

在宅医療では、医学的に正しいことが必ずしも生活する上での正解とは限りません。

患者さんやご家族の生活に寄り添い、あらゆる視点からその人にとってのベストな選択を提案していくため、一人ひとりに寄り添った医療を志す方には大きなやりがいを感じられるのではないのでしょうか。

## ― 印象的な患者さんのエピソードがあれば教えてください

「どうしても家で死にたい」という患者さんと、それこそ病院から一緒に介護タクシーで自宅に帰ってくるようなこともありました。余命わずかな患者さんでしたが、病状のコントロールや緩和ケアを行い、ご家族と自宅で最期を過ごすことができました。

後日に訪問した際には、ご本人だけでなくご家族も「本人の願いを叶えてあげられた」という満足感を得ておられ、在宅医療が患者さんの人生やご家族の心のケアに深く関わる意義深い仕事であることを改めて感じました。



## ― 職場環境はいかがでしょうか

当院は24時間体制の在宅診療クリニックですが、休める時には休んで勤務のオンオフをつけることを意識しています。有給休暇は100%消化を目標に、子どもの発熱などの急な休みも、「休みます」のチャット連絡だけで済むようにしています。自分たちの生活が成り立たなければ良い仕事はできませんから、何よりもスタッフファーストのクリニックを心がけています。頻度は多くないものの、「ひのでcafe」のようなイベントを通して、患者さんやスタッフ、その家族を含めた交流の機会も設けています。

## ― チームが求める人物像についてお伺いします

当院の離職率が低いのは、このようなスタッフファーストの職場環境に加え、クリニックの文化に合った人材が集まってくれているからだと思います。単に人間関係のよい職場というわけではなく、仕事に対する意識や思いを共にする医師・スタッフが集まっているからこそプロフェッショナルな集団としての成長を続けられているのです。

私たちが求めるのは、「柔軟」で「さまざまなことに興味・関心を持てる」人です。特に当院では小児から高齢者までを広く診ているため、自分の専門分野にこだわらず、多職種や専門知識を持つ仲間と相談しながらやり方を取り入れていける柔軟性が大切になります。幅広い領域に関心を持ち、共に学びながら進んでいけるような方にお越しいただけることを期待しています。



# 募集要項

「関わるすべての人に、より良い生活を提供します  
在宅患者さんとそのご家族の負担を減らす  
お手伝いを心掛けています。」

- ✓ 患者さんだけでなく、家族、スタッフ、他事業所の職員の充実した生活のために活動をしています。
- ✓ 「自分だったらこうして欲しい」と思う、自らが受けたい医療・サービスを提供できるよう考えて行動をしてください。
- ✓ 私たち自身が仕事を通じて成長し、より良いサービスを継続的に提供し続けることが、地域社会の充実につながります。

## ひのでクリニックが歓迎する人物像

- 仕事の中で実現したい目標・志がある人
- 好奇心をもち、新しいことに挑戦したい人
- 人と関わるのが好きな人
- 周囲の人と協調性をもって、チームで活動できる人



在宅医療は患者さんを全人的に対応します。専門ではないからわからないと思わず、できることを増やしたいと積極的に行動する方に一緒に働いていただきたいと考えています。

### ◆ひのでクリニックは、2019年に開設された訪問診療が中心のクリニックです。

内科、呼吸器内科、小児科、心療内科、精神科を標榜しており、地域に根差した医療を提供しています。主な疾患は、神経筋疾患、がん終末期、COPD、認知症、脳梗塞後遺症など多岐にわたります。

### ◆小児～高齢者まで幅広い患者様に対応しており【在宅医療専門医】資格取得可能！

### ◆理事長は、訪問診療の経験が豊富な40代の医師です。クリニックの運営だけでなく、人材育成にも力を入れています。

在籍医師は30代後半～40代後半で和やかな雰囲気の中、情報共有を密に行いながら診療しています。

訪問診療や小児診療の経験は問いません。

在籍する医師も、入職時は訪問診療未経験でした。入職後は院長が同行し、診療に慣れるまで丁寧に指導しますのでご安心ください。



## ◆ こんな先生におすすめ ◆

- ☒ プライマリケアから在宅看取りまで、幅広い経験を積みたい先生  
ワークライフバランスを重視したい先生
- ☒ 未経験の分野にチャレンジしたい先生
- ☒ 将来的な開業へむけて、在宅医療を勉強したい先生
- ☒ 家庭と仕事を両立させたい先生（子育て中の方など）



## 福利厚生

- 休 暇：夏季休暇, 年末年始休暇, 有給休暇
- 退職金：なし(企業型DC（企業型確定拠出年金)制度はあり)
- 各種保険：健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険
- 住宅手当：あり(金額は要相談)
- 赴任手当：あり(金額は要相談)
- 通勤手当：あり(院内規定に従い支給)
- 学会参加：可 学会補助あり
- 昇給：あり(実績等により判断)
- 契約期間：あり（1年毎更新）  
業務量・職務能力・経営状況等により判断する  
更新上限なし
- 試用期間：あり（6ヶ月 期間中の雇用条件変更はなし）
- 定年制：60歳（再雇用制度あり：65歳まで）
- 時間外勤務：あり（月平均10時間程）
- 固定残業代：なし
- 給与〆支払日：当月末日締め、翌月25日払い
- 受動喫煙対策：敷地内禁煙
- 自己都合退職：3ヵ月前まで



# 募集要項

## 求人条件(全科共通)

---

募集科目：一般内科、訪問診療科、小児科 ※詳細は下記参照

対象年齢：50代迄(求人には非公開でお願いします)

勤務日数：週4～5日

就業時間：8：30～17：30 →時短勤務：女性で子育て中の先生の場合は要相談。  
週32時間に満たない場合は非常勤扱い

休憩時間 60分

当直回数：なし

オンコール：当番制（平日：週1回、土日：月1回程度）

**基本給与：(年俸)1,200～1,800万円**

：下限は週4日を想定、上限は週5日勤務を想定

※ご経験・実績に応じて相談可能

オンコール待機手当：別途支給

平日夜間3.5万円/回、土日・祝1日：8万円/回

出勤手当：なし

## 【定期非常勤募集】

---

募集科目：一般内科、小児科、総合診療科

勤務形態：日勤（終日）※半日勤務もご相談ください。

主な業務：在宅診療（個人宅、一部サービス付き高齢者向け住宅）

○ 患者層：高齢者、成人、小児と幅広い

○ 1日の訪問件数：7～12件（目安）

○ 訪問体制：医師、看護師、事務員のチーム

○ 運転：看護師または事務員

○ 訪問エリア：広島市、府中町、坂町、矢野

勤務条件：勤務曜日・日数：週2日～（月曜～金曜）の勤務

※週1日希望の場合も相談可能

○ 勤務時間：8:30～17:30（休憩60分）

※午前のみ、午後のみ勤務、勤務開始・終了時間の調整も相談可

○ 祝日：休み

**給 与：時給10,000円**

○ 時間外手当：別途支給

交通費：公共交通機関、自家用車ともに院内規定に従い別途支給

マイカー通勤可能、駐車場あり



## 【常勤】

- 就業場所：（雇入れ直後）ひのでクリニック（変更の範囲）なし
- 従事内容：（雇入れ直後）ひのでクリニック（変更の範囲）法人の定める業務
- 勤務開始：随時（応相談）
- 常勤医師：3名→年代：30代後半～40代後半 3名
- 募集背景：体制強化のため増員
- 応募資格：臨床経験5年以上、訪問診療未経験でも可。
- 対象年齢：50代迄(求人には非公開をお願いします)
- 勤務日数：週4～5日
- 勤務曜日：月曜～金曜
- 勤務時間：8：30～17：30  
→時短勤務：女性で子育て中の先生の場合は要相談。  
週32時間に満たない場合は非常勤扱い
- 休憩時間：休憩時間：60分
- 休日：土曜、日曜、祝日
- 勤務内容：【日勤帯】  
＜訪問診療＞  
→訪問件数：約7～12件程度／日＋緊急往診  
※一部施設（サ高住）への訪問も含む  
→訪問先割合：ほぼ居宅  
訪問エリア：広島市、府中町、坂町、矢野  
→担当制：主治医制（ゆるい主治医制、他の先生とも情報は共有）  
→訪問体制：2～3名体制  
医師・看護師またはソーシャルワーカーまたは事務 ※医師は基本的に運転なし  
【夜間帯】  
＜オンコール待機＞※減免：女医さん、子育て中などは調整可  
→勤務頻度：平日週1回、土日祝で2～3回／月を想定。  
→出勤頻度：平日で週1回程。土日祝0～2件／日程  
→電話件数：1回の勤務時…平日：0～2件 土日祝：多くて5件程  
→ファーストコール：医師による。  
担当医ご自身で対応の場合もあれば看護師の場合もあり  
外部の電話代行の場合もあり  
※訪問診療未経験の場合：一定期間、診療同行あり  
※小児診療未経験の場合：軽症からスタート  
※訪問診療、小児診療ともに未経験の場合：まずは訪問診療に慣れていただく  
⇒小児診療になれていただく。

◆いずれの場合も先生のスキル、習熟度合いによって研修内容や期間は  
院長先生と相談しながら進めていただきます。



# 広島県広島市について

## 都市機能と自然のバランスが心地よい住みやすい街

広島は、平和都市として世界的な知名度を持ち、広島市の人口は約120万人を超える中国地方の中心都市です。

1980年に政令指定都市に指定され、都市機能・公共交通機関も充実しているため利便性の高い地域になっています。

瀬戸内海に面し、山・川などの自然の美しい景観にも恵まれた都市です。

豊かな食文化や、マツダに代表される製造業も盛んで、プロスポーツや文化活動も活発に行われています。



## 人も街もエネルギッシュ

広島といえば、市民球団の広島東洋カープへのカープ愛で有名ですが、広島市民は人情味があふれた活発でエネルギッシュな人が多いと言われています。

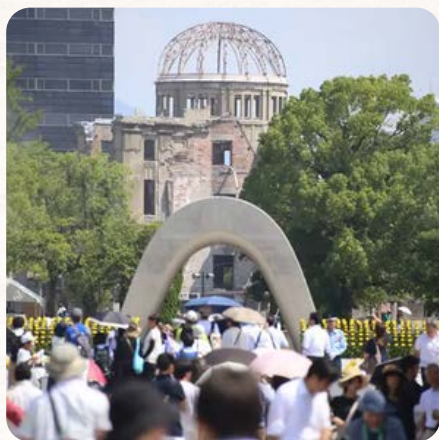
お祭りも盛んで、広島市街を東西に走る「平和大通り」を使った大規模なお祭りやイベントが多く、広島 of 街全体が華やかな雰囲気にも包まれることも多くあり、街全体の活気が伺えます。



平和公園と宮島を望む



## 1年を通してイベントやレジャーを楽しむ



広島平和記念祭



胡子大祭(えびす講・えべっさん)



広島みなと 夢 花火大会

## 少子高齢化と求められる医療

広島県でも高齢化が進んでおり、人口に占める後期高齢者の割合が2020年時点で25.3%に達しています。

高齢化・少子化による疾病構造の変化に対応する必要性と、県内の医師不足といった課題を抱えています。

自治体も課題解決に向けて高度な医療を提供する病院体制構造の改革と新病院設立構想を掲げ、地域医療機関との連携、関連企業の協力など官民一体となった問題解決への動きも盛んです。



## 子育て世代に支持される広島市

広島市は安心して子供たちを育てることができる充実した教育施設や公園、さらには子育て支援プログラムなどが充実しています。広島県では「いきいきパパの育休奨励金」という補助金制度も実施しており、広島県は男性の育休取得率が全国トップとなっています。進学先も子どもの可能性を広げる魅力的な学校が多くあります。



AICJ高校



修道高校



広島大学附属高校



# 法人概要

## 施設概要

名 称 : ひのでクリニック

住 所 : 〒732-0818 広島県広島市段原日出1-12-18-101

開 設 : 2019年4月

院 長 : 橋本 和憲（総合内科／広島大学卒／年齢：40代）

診療科目 : 一般内科、呼吸器内科、小児科、心療内科

アクセス : 段原山崎バス停から徒歩3分、マツダスタジアム前バス停から徒歩6分  
広島駅から徒歩20分

施設 H P : <https://hinode-clinic.com/>

カルテ : 電子カルテ(クラウド型・メーカー：モバカル)

救急指定 : なし

病床種別 : なし

体 制 : (2025年8月現在)

医師：常勤 3名／非常勤 2名

看護師体制：常勤 3名

連携医療機関：広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院など





**【診療実績】（2024年度）**

総患者数：250名程度

新規患者数（月間）：10名

**【主な疾患】**

小児期由来の疾患（染色体異常、遺伝子異常、早産による障害などが多い）、  
神経筋疾患、がん終末期、COPD

認知症、老年期うつ病、脳梗塞後遺症、皮膚疾患、褥瘡など

**成人と小児の患者数の割合：小児が全体の3分の1**

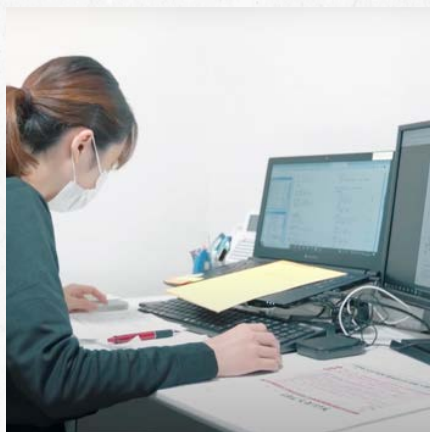
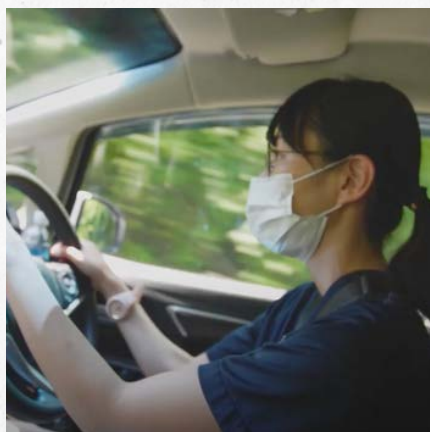
（0歳…1～2名、0～5歳・6歳～10歳・11歳～15歳・16歳～20歳はほぼ同数）

高齢者は80代が多い

在宅看取りの実績：年31件程（夜間看取りは月1～2件）

**【緊急時対応の状況】（夜間・休日の緊急往診対応など）**

- ・ オンコールの出動：平日で週1回程。土日（日中～夜間）の2日間で0～3件
- ・ 夜間看取りの対応は、家族さんのご意向によって、タイムリーな場合もあれば翌朝の場合もある
- ・ 夜間出動時の移動手段：待機日はクリニックの車で帰宅・出勤（ご自身の車でも可）





TEAM HINODE CLINIC

お問い合わせはこちら

**株式会社エムステージ**

**添島 匠 (ソエジマ タクミ)**

070-1387-5461

[takumi.soejima@mstage-corp.jp](mailto:takumi.soejima@mstage-corp.jp)

**田中 裕子 (タナカ ユウコ)**

070-5550-8996

[yuko.tanaka@mstage-corp.jp](mailto:yuko.tanaka@mstage-corp.jp)